志摩市 避難情報の判断・伝達マニュアル［概要版］

Gemini Notebook

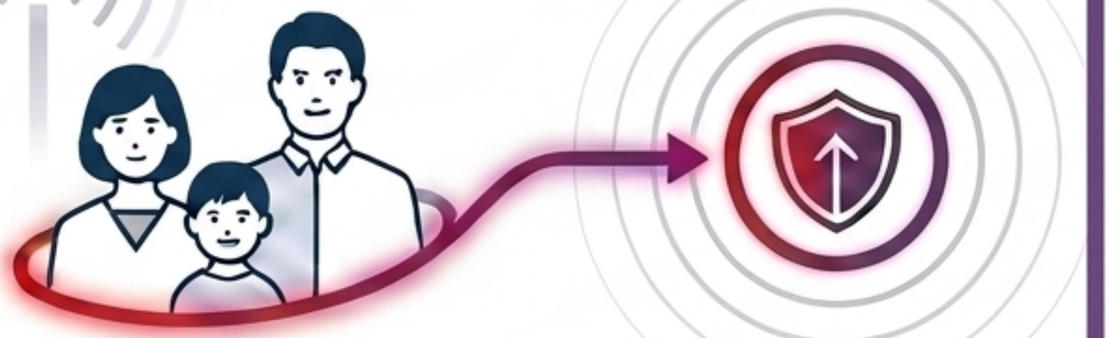
市民の皆様へのお願い：命を守る避難行動

災害は必ずやってくる



南海トラフ地震、伊勢湾台風など、
志摩市は幾度も自然の猛威に直面してきました。
今後も災害はいつ発生してもおかしくありません。

自らの命を守るために



市から発令する避難情報は、命を守るための重要な情報ですが、最終的に避難するかどうかは、皆様一人ひとりの「自発的な判断と行動」にかかっています。

Gemini Notebook

【How】3つの「避難行動」を知る



立退き避難
（水平避難）

危険な場所から離れ、安全な場所（避難所や親戚の家など）へ移動する。

避難の基本行動。



屋内安全確保
（垂直避難）

建物内の安全な高さ（上層階）へ移動し、留まる。

ハザードマップでの
事前確認が絶対条件。



緊急安全確保
（最終手段）

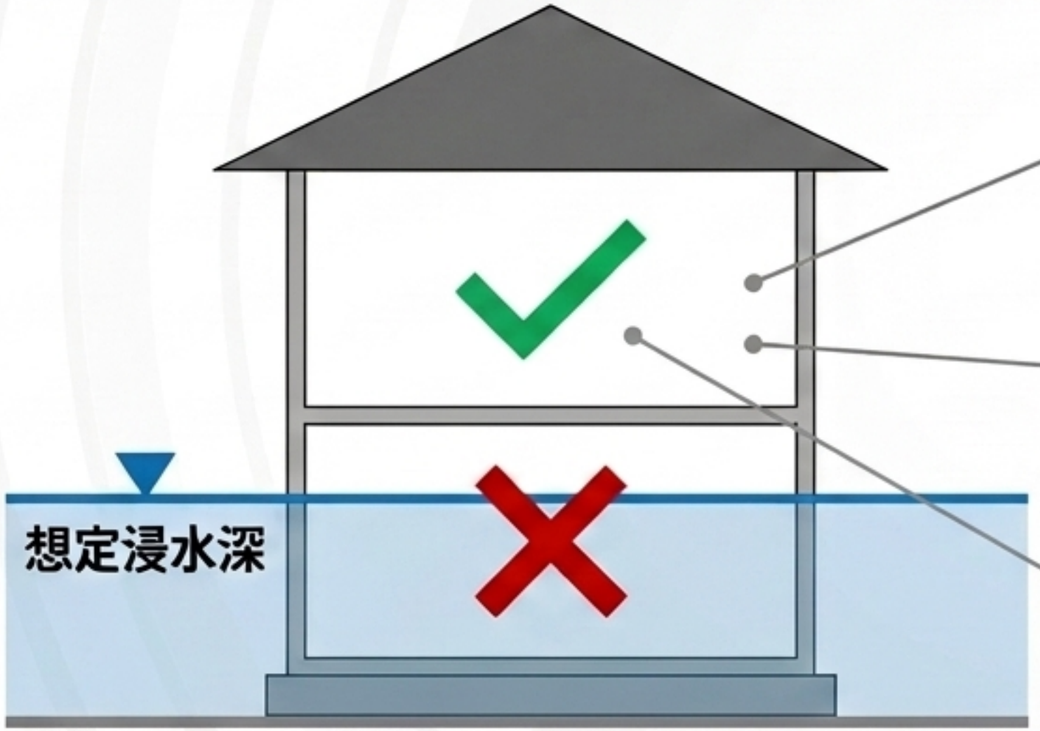
避難し遅れた場合、その時点で最も安全な場所 (少しでも高い場所、崖から離れた部屋）へ直ちに移動。

すでに災害が切迫・発生している時の命を守る最終手段。

Gemini Notebook

注意！「家にとどまる」ための絶対条件

屋内安全確保（垂直避難）は、誰でも選べる行動ではありません。
以下の条件が揃っているか、ハザードマップなどで事前に確認が必要です。



Check 1: 家屋が浸水想定区域外、または浸水深より高い居住空間があるか？

Check 2: 家屋が倒壊・崩落する危険性（土砂災害警戒区域など）がないか？

Check 3: 「水・食料の備えが十分か？」

確認できていない場合は、迷わず「立退き避難」を選択してください。

Gemini Notebook

【When】警戒レベルカラーと、あなたが取るべき行動

命の危険。ただちに
命を守る行動を。

警戒レベル5

命の危険。ただちに
命を守る行動を。

災害が発生・切迫。
安全な避難が困難な状態。
少しでも安全な場所へ。

避難指示

警戒レベル4

危険な場所から
全員避難

ただちに立退き避難または
屋内安全確保を完了。

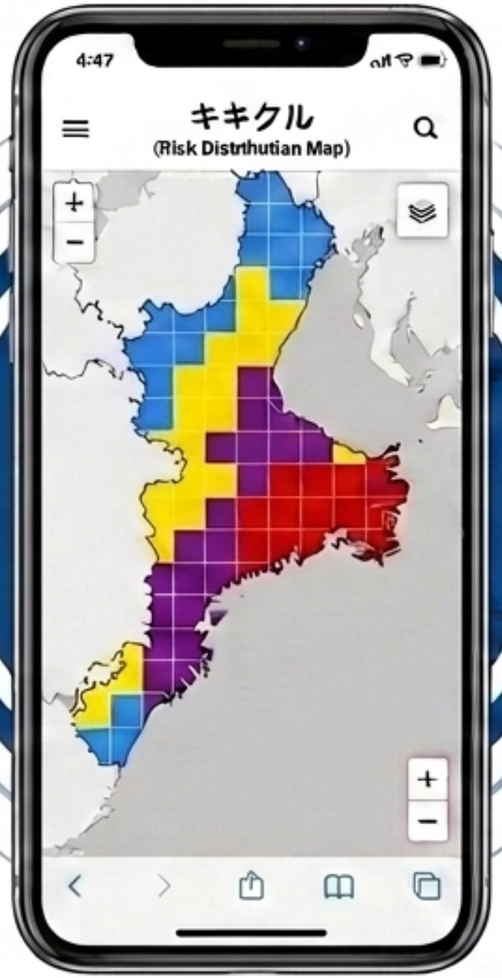
高齢者等避難

警戒レベル3

避難に時間のかかる高齢者
や障がいのある方は、危険な
場所から避難を開始。
その他の方も避難の準備を。

Gemini Notebook

情報は連動する：気象庁の発表から市の発令へ



キキクル「警戒（赤）」
レベル3○○警報

→ 志摩市発令【警戒レベル3】
高齢者等避難

キキクル「危険（紫）」
レベル4○○危険警報

→ 志摩市発令【警戒レベル4】
避難指示

キキクル「黒（災害切迫）」
レベル5○○特別警報

→ 志摩市発令【警戒レベル5】
緊急安全確保

気象庁の「危険度分布（キキクル）」の色が変われば、その地域の危険度が高まった合図です。自らキキクルを確認する習慣を！

Gemini Notebook

【What: 水害】指定河川がない志摩市特有のルール



志摩市には、水位を基準にして避難を発令する「洪水予報河川」等の大きな指定河川がありません。

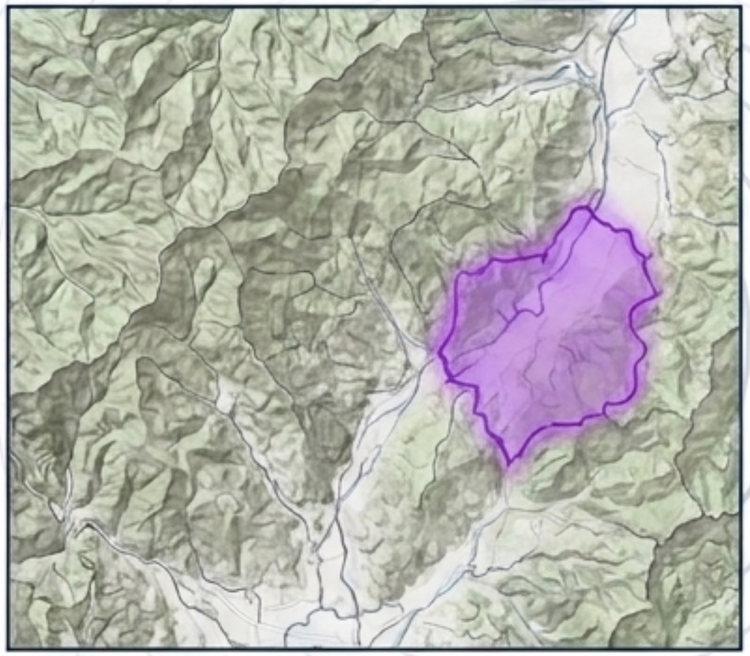
そのため、大雨のときは、市が個別に避難対象地域を指定して、避難情報を発令します。

川の様子を見に行くことは絶対にやめ、気象情報と市からの発令に耳を傾けてください。

Gemini Notebook

【What: 土砂災害】「大字」単位の細やかな避難情報発令と前兆

大字単位の発令



三重県土砂災害情報提供システムや土砂キキクルの着色メッシュに基づき、原則として字単位で避難情報を発令します。

土砂災害の前兆現象

市からの情報だけでなく、
以下の「前兆」に気づいたら自ら避難を！



湧き水や
地下水の濁り



渓流の水量の
急激な変化



山鳴り・
立木の流出

Gemini Notebook

【What: 高潮・台風】「明るいうちの避難」の原則



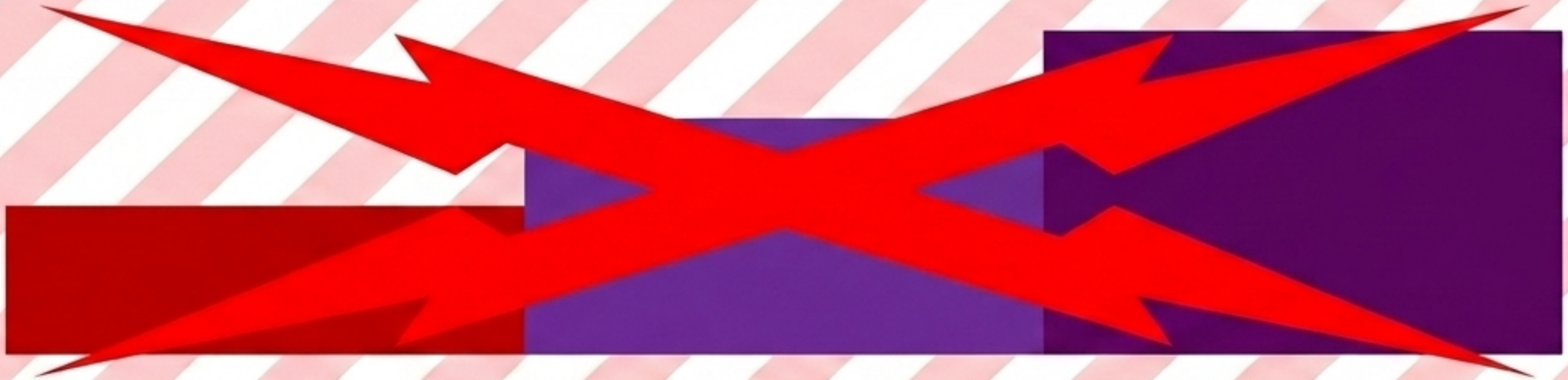
沿岸部全域に及ぶ高潮や市全域域に及ぶ暴風のリスク。

強い台風が「夜間から明け方」に最接近・通過すると予想される場合、市は避難が困難になる夜を避け、「明るい時間帯」に早期発令します。

外が暗くなる前、風雨が強くなる前に、避難行動を完了させてください。

Gemini Notebook

【What：津波】
津波は別格。「警戒レベル」はつきません



津波は一刻を争うため、「警戒レベル３・４・５」という段階的な手順を踏みません。

揺れを感じたら、あるいは警報が出たら、情報収集に時間をかけず「即座に逃げる」ことが前提となっています。

津波に係る避難情報には、一切の「警戒レベル」が付されません。

Gemini Notebook

津波に関する3つの警報＝すべて即時「避難指示」



対象地域：浜島町、大王町、志摩町、阿児町、磯部町（沿岸部および指定浸水想定区域）。
直ちに海岸や河川から離れてください。

Gemini Notebook

津波の避難指示はJアラート直結：「市の放送」を待たずに逃げる

気象庁から大津波警報・津波警報・津波注意報が発表された場合、**Jアラート**（全国瞬時警報システム）が自動起動し、**防災行政無線**から**即時に緊急放送**されます。



Jアラート
（自動起動）





「より早く、より高く」



防災行政無線
（屋外スピーカー）





市役所

市役所からの個別のアナウンスを待つ必要はありません。Jアラートのサイレンが鳴った瞬間、それが**「避難指示」**です。直ちに高台へ駆け上がってください。

Gemini Notebook

【Where】どこで情報を受け取るか（情報伝達手段）



防災行政無線：
屋外スピーカーからの音声。
状況に応じ町ごとに分割放送。

緊急速報メール（エリアメール）：
大津波・津波警報時に気象庁から
自動配信（※津波注意報は配信さ
れないため注意）。

公式LINE：
市からの確実な通知。平時からの
友だち登録を推奨。

ケーブルテレビ /
県防災情報システム（Lアラート）
テレビ画面での文字確認。

地域での声かけ：
消防団、自主防災組織、
近隣住民による直接の避難支援。

Gemini Notebook

まとめ：あなたの命を守るための5つのルール

1



【基本】

ハザードマップを確認し、「立退き」か「屋内安全確保」か決めておく。

2



【色と行動】

レベル3（赤）で高齢者避難、レベル4（紫）で全員避難。

3



【ローカルリスク】

キキクル（危険度分布）を自ら確認し、明るいうちに行動する。

4



【津波の例外】

津波にレベルなし。Jアラートで全て避難指示。「より早く、より高く。」

5



【情報】

アプリや防災無線など、複数の情報源を確保する。

自分の命、大切な人の命を守るための判断は、災害が起きる前の「平時の確認」から始まります。日頃から家族と話し合うことが大切です。

Gemini Notebook